森林と人をつなぐかながわ森林インストラクターの会　平成３０年８月１日発行　通巻第２６９号

森のなかま

２０１８年８月号
NO.１２４（継続２６９号）

ＮＰＯ法人かながわ森林インストラクターの会　http://www.forest-kanagawa.jp　発行人　久保　重明
〒243－0018　厚木市中町２丁目１３番１４号・サンシャインビル６階６０４号　TEL046－297－0301・Fax046－297－0302

“３７ｔｈ横浜開港祭（THANKS TO THE PORT）街頭キャンペーン”

日：６月１日（金）晴れ、６月２日（土）晴れ　９：００～１７：００
場所：私達の会場配置は、みなとみらい臨港パーク B43
参加者　6/1：91 名（大人 64、子ども 27 名）
　　6/2：371 名（大人 164、子ども 207 名）／　二日間の合計：462 名

＜　統括インストラクター　副理事長　森本　正信　5期　＞

6/1･2 の金曜･土曜の開催となった今年の横浜開港祭。当初、出店場所が 2 年前に来場者ワースト記録となってしまったブース付近で困惑したが、数度の折衝を経てB43 へ変更(忖度)していただけた。今後は、「人気のコンテンツ」であることを、申込書提出時点で早めに訴求をいたしたい。

実施内容としては、受付→紙芝居(水源涵養実験を含む)→丸太切り･クラフト･緑の募金という流れで、「かながわ水源の森林づくり」の普及啓発に努めた。

なお、私どもの出店場所は花火鑑賞のうえでは一等地。そこで、参加インストのご家族さまにもリリース出来たらいいな(ね)と思いました。

①　募金＆受付

②紙芝居
（水源涵養実験を含む）

③クラフト　④丸太切り

（写真撮影：松本）

（次ページに続く）

クラフト:上手にできるかな

こんな上手な作品も

フランスの人も

丸太切り:君は上手

ワタシとボクはバリ削りに夢中

終了:連日の暑さの中　ご苦労様でした

（公財）かながわトラストみどり財団、インストラクター参加者
6/1 財　佐々木様　、インスト　L森本⑤、井出①、高橋③、安部⑤、鈴木⑤、小野⑦、渡部⑦、斎藤彰⑧、
高橋⑨、村井⑨、松本⑪、澤村⑫、大原⑬、石井実⑮、小野⑮　の 15 名
6/2 財　内田様、小菅様　、インスト　L森本⑤、渡辺③、高橋③、足立④、安部⑤、鈴木⑤、永野⑥、武本⑦、渡部⑦、
中島⑨、青木⑩、大塚⑪、松本⑪、大原⑬、溝田⑬、小野⑮、佐々木⑮の 17 名

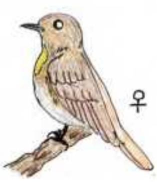
◆◇

自然観察部会　平成 30 年度　夏の探鳥会『　秦野峠林道　』
2018 年 5 月 26 日（土）晴れ　　参加者 11 名　　講師インストラクター：松永　廣　氏　11 期

＜　記　石垣　桃栄　15 期　＞　（写真撮影：　松石　藤夫　13 期、　イラスト：　川瀬　和江　15 期）

曇天の観察会となりましたが、ゆるく続く登り坂を歩くには最適の日。白い葉を花のように見事に見せてくれるマタタビの木・水中で水玉のようにきらめくオタマジャクシから孵りたての小さなカエル達が一斉に山へと向かう姿・季節のアマツバメ・舞うアサギマダラを楽しみながらの道中となりました。

寄大橋を渡り、いよいよ本格的な探鳥の道へ。姿は見えねど響く　アオバト・キジ・キビタキ・ツツドリ・サンショウクイ・ヒガラ　の声、木々に見え隠れするシジュウカラ・エナガ・コジュケイ、さらにオオルリの雌・雄の姿には皆興奮。しばし観鳥の時間となりました。



オオルリ

オオルリ♀

ホオジロ

キビタキ

枝先で盛んに囀るホオジロも、松永講師持参のスコープで嘴の先までクリアに見え、魅了されました。昼食後、同氏による「羽の形状」ミニ講座を受け、姿と囀りを楽しみながら帰路につき充実した観察会となりました。

今回観察できた鳥類　姿　20 種類、　声のみ 10 種類

オリエンテーション

双眼鏡で観察

ミニ講座　と　観察できた鳥合わせ

参加者：　、内野⑨、小林　富⑩、松石⑬、小林　真⑭、鈴木⑭、石垣⑮、河西⑮、川瀬⑮、鶴井⑮、飛田⑮、赤崎⑫
（5/26 のこの日はあいにく『緑の祭典　2018 in はこね』とバッティングし参加者が少なかった）

平成３０年度　森林部会　平成３０年度　『　下刈り研修会　①　』
日時：平成３０年６月９日(日)９：００～１５：００　　晴れ
場所：南足柄市内山　県立２１世紀の森　２６－１区画

《 森林部会　妙泉　正隆　15期 》　写真撮影:滝澤　洋子　5 期、福島　孝弘　9期

開始時刻を予定より 30 分早め、オリエンテーション、福島スタッフによるインストラクターの役割を中心にした講義、準備運動の後、現場(平成 26 年度のスギの植樹林)に移動した。昨夜の雨の影響を感じない晴天の下、3 班に分かれて下刈りを開始した。タケニグサ、ツル植物、クサギが目についたが、ススキは思っていたほど多くはなかった。

午前中は、10 分程度の間隔で交代しながら研修生全員がインストラクター役を務め、班の作業進捗状況に目を配った。

午後は会員の力の見せ所と作業域全体を下刈りした。当初、スタッフは全域の下刈りは無理かと危惧され、坪刈も考えられたということだが、終わるまでやれという指示の下、全員の頑張りで 14 時少し前に完了し、刈残しの有無を確認しながら下り、木材工芸センター付近で砥石を使って鎌研ぎを行った。

最後に、班毎の発表を行い、全体の講評があった。研修を通して気がついた点、下刈り作業における危険と対処法などについて意見交換が行われ、現場では想定外のことにも対処するため、少なくともマニュアルに記載されていることはスムーズに対応できるよう準備し、参加者に安全かつ満足してもらえるようにとのまとめがなされた。

微風はあったものの 30 度を超える中、熱中症になることもなく、第 2 班担当域で見つかったキイロスズメバチの巣への対処も適切に行われ、ヒヤリハットもなく参加者全員にとって意義深い研修だった。
(中段中央の写真:キイロスズメバチの巣と女王蜂)

参加者:21 名(スタッフ、講師含む)
小清水⑤、内野⑨、大橋⑪、北村⑬、古舘⑬、西岡⑭、大高⑮
大見⑮、小野⑮、河西⑮、角石⑮、末原⑮、竹内⑮、西村⑮、妙泉⑮
講師:小野⑦、焼尾⑬、岩田⑭／スタッフ:滝澤⑤、福島⑨、辻村⑨

森のめぐみ　シリーズ

枠組は桜の小枝です

第２５回　虫にも好き嫌い

東京大学名誉教授　谷田貝　光克　氏

「蓼（たで）食う虫も好き好き」という言葉があります。辛い蓼の葉を好んで食べる虫がいるように人の好みはそれぞれで一概には言えないことの例えです。また「蓼酢でもいけぬ」という例えもあります。蓼酢はタデの葉をすりつぶして酢・砂糖を加えた調味料ですが、これも食べられぬ奴はどうしようもないという例えです。

蓼はタデ科タデ属の草で、ヤナギタデ、イヌタデ、イタドリ、ハルタデなど、その仲間も多いのですが、ことわざなどに出てくる辛味のあるタデはヤナギタデです。藍染に使われる藍（あい）もタデの仲間です。イタドリは土手や荒れ地にはびこる別名スカンポで知られている草で、茎を折って口にすると酸っぱい味がします。利尿の生薬としても用いられてきた草です。紅色の小さな米粒大の花を穂状につけるイヌタデはあかまんまと呼ばれて子供の時に遊んだことがある人もいることでしょう。イヌタデには辛味はありません。

辛味があり刺身のつまなどに利用されてきたのがヤナギタデです。辛味成分が胃を刺激して食欲をそそる働きがあるので香辛料としてヤナギタデは使われます。ヤナギタデは下痢止め、解熱、虫刺されなどにも使われてきました。

ヤナギタデ

辛味成分はポリゴディアール（Polygodial）というセスキテルペンでアルデヒド基を二つ持った化合物です。実はこの化合物には抗菌作用、抗過敏症、鎮静作用、抗炎症作用などのほかに昆虫に食べられるのを抑える摂食阻害作用があるのです。摂食阻害成分が含まれているにもかかわらずそれを好んで食べる虫がいる反面、多くの虫はこの辛味成分が苦手で食べないのです。虫にも好んで食べる植物と苦手ものがあり、好き嫌いがあるのです。

そして虫が最も苦手とする成分の一つがタンニンです。タンニンの嫌う害虫の例にナミスジフユナミシャク（*Operophtera brunnea*）という蛾の幼虫がいます。この虫は北海道から九州までに広く生息し、幼虫は広食性でシラカバなどのカンバ類、ミズナラ、ブナ、サクラ、シナノキ、クルミなどの葉を食害します。幹の上で卵で越冬して春先に卵からかえり、新芽や若葉を食害して成長します。北海道ではハンノキやカンバ類での食害が見られます。この蛾の幼虫の食害を観察して興味ある結果が報告されています。

ヨーロッパから小アジア、アフリカ北部に分布するヨーロッパナラ（欧州ナラ，*Quercus robur*）の葉を摂食するこの幼虫は春の新芽から若葉の葉を好んで食べるのですが、6 月中旬になると摂食をやめて、他の樹種に移るのです。葉の成分を調べると、4 月ごろにはタンニン全体の量が少ないのですが、6 月になると増加するのです。タンニンはフラボンという化合物が重合した縮合タンニンです。タンニンの渋みが蛾の幼虫に摂食阻害作用を発揮したのです。新芽から若葉に成長するにつれ葉の硬さも増してきますので、葉の軟らかさも幼虫に嫌われるのかもしれませんが、タンニンの働きも見逃せません。もし食べたとしてもタンニンがタンパク質と結合して複合体を作りタンパク質の消化、吸収を妨げることもわかっています。ヨーロッパナラの樹上には、春には 110 種以上の昆虫が生息しますが、8 月中旬になると 65 種に減少するということからもナミスジフユナミシャク以外の虫に取ってもタンニンは嫌われているのです。 害虫に食害される木の葉にはタンニン含量が少ないことからもタンニンが昆虫の摂食に対する防御の役割を果たしているのではないかと考えられます。

ヨーロッパナラ

大麦やトウモロコシには縮合型タンニンが含まれていますので、鳥などからの食害への抵抗性に寄与していると言われています。お茶などのタンニンのほどよい渋みに私たちは癒されますが、昆虫にとってはタンニンの渋みは苦手なのです。

（イラスト　広報部　加藤　優美　⑮）

活　動　短　信

今回の掲載は 5/26～6/30 です。
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

フリーイラスト
より

紅花栄 5/26～5/30 頃
べにばなさかう
紅花が盛んに咲く
第二十三候 小満 次侯

菖蒲華 6/26～7/1 頃
あやめはなさく
あやめの花が咲く
第二十九候 夏至 次侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
写真もあれば1枚**添付**ください。
◆ 活動団体・活動名 等
日 日付（できれば時間と天気も）
場 場所 （例：相模原市緑区 長竹承継分収林）
参 参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様
イ インストラクター （○数字：期） 研：研修枠
以下の**本文を概ね400字前後を目安**として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェックをお願いします。（執筆者もお忘れなく！！）
活動終了後の速やかな投稿をお願いいたします。

◆ 鶴岡八幡宮 槐の会

林内整備と癒やし・自然観察及びクラフト製作

日 5 月 26 日（土）8:30～15:00、 晴れ
場 南足柄市内山 県立 21 世紀の森 運動広場他
参 槐の会一般参加者 31 名及びスタッフ 6 名
県 大西様
イ L 高橋⑨、菊地①、草野⑧、宮下⑩、湯浅⑪、吉田⑪、真貝⑪、安井⑫、真部⑬、藤井敏⑭、藤井世⑭

鶴岡八幡宮槐の会としては 21 世紀の森でのイベントは 3 回目となった。
当日の天候が心配されたが、晴れとなり予定通りのスケジュールで開催された。

バスの到着時間もほぼ予定通りであり、駐車場に近い運動広場で開会式を行った。

午前中は 5 班に分かれ、カツラの間伐と倒木処理を行う班と、アオキの除伐と枯れ木、枯れ枝の林内整理を行う班に分かれ汗を流しました。作業場所は急傾斜の所が多く、特にカツラの伐採は広葉樹で直径 20cm 以上あり、樹高も 10m 以上もある木が対象であり、伐倒した時は参加者から拍手が起こるほどの作業を行いました。各作業も事故無く無事に作業を終えることが出来ました。

午後からは 21 世紀の森施設内でのクラフト製作班、自然観察と癒やし体験班、どんぐりコースから金太郎コースを歩く健脚コースに分かれ活動しました。

今年のクラフトはコースター作りを行い、参加者は好みの型紙から作品を選び、糸鋸やサンダーを使用し作品を完成しました。健脚コースと自然観察・癒やしコース参加の方はそれぞれのペースで森の散策を楽しみ、事故も無く終了しました。参加の皆様が笑顔でバスに乗り込まれるのを見てスタッフ一同もほっとして見送りました。

（記 高橋 修 ⑨）

◆ 横浜市立荏田小学校 自然観察

日 6 月 4 日（月）13:45～15:45、 晴れ
場 愛甲郡愛川町 県立愛川ふれあいの村
参 小学 4 年生 51 名、教師 7 名
イ L谷川⑪、島岡③、小沢⑨、村井⑨、西出⑫

青空のもと、子供たちは元気一杯、緑が濃くなった森を散策しながら、自然観察を行いました。五感を総動員して、植物や動物の不思議な生態を目の当たりにして、興味津々、みんな、目が輝いていました。そして、熱心に説明を聞きながら、ノートにメモを取っていました。

自然観察は、5 班に別れて班毎に活動しました。プログラムは、前半と後半に別れていて、前半の約1時間は、班担当のインストラクターと一緒に歩いて、草、木、鳥、蝶などの説明を聞きながら、草や木の葉の香りを匂ったり、リスが食べた胡桃の殻を見付けたりして、自然観察を楽しみました。後半の約1時間は、班毎に子供達だけで行動しました。インストラクターは 5 ヶ所に立って、各地点で自然に関するクイズを用意して、やって来る子供たちに問題を解いてもらいました。終了後、全員で答え合わせを行って、正解を確かめ合って、楽しかった活動を終えました。

（記 西出 健一 ⑫）

かながわしずくちゃんホームページは下記URLで見ることができます。

http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f530038/p780119.html

◆ 県民参加の森林づくり　下刈り

日 6 月 9 日(土)8:40～12:00、 晴れ
場 南足柄市内山(平成 28 年度成長の森)
参 40 名
財 大木様、古舘様、佐々木様　　看 青木様
イ L後藤⑩、鈴木③、永野⑥、波多野⑨、
大塚⑪、湯浅⑪、石川⑫、斉藤⑬、松石⑬、
野村⑭、水野⑭　　研:飛田⑮

2018 年度最初の県民参加の森づくりは、南足柄市内山の 21 世紀の森、平成 28 年度成長の森の下草刈りを行いました。駐車場から徒歩 5 分で防獣柵内の階段を上り、比較的穏やかな傾斜地で、苗木は 1～2 年経過した高さ 70 ㎝程度の無花粉杉です。梅雨時期で、天候を気にしていましたが当日は、夏日晴天となりました。1mを超える高さのカヤやタケニグサが、杉苗木の成長に影響を与えることから、下草を刈り取ります。5 班体制で、横に一列に並び、各自間隔を保ちながら、大鎌で、苗木を刈らないように注意しながら、下草刈り作業を行いました。

午前中で作業を終了し、道具の手入れ後返却しました。

炎天下の作業でしたが、1 本 1 本苗木の姿が見えるようになり、参加者から達成感が感じられたとの声が聞けました。熱中症もけが人もなく無事作業を終了できました。

(記　後藤　幸雄　⑩)

◆ 横浜市立八景小学校　森林づくり活動を体験しよう

○事前授業(6 月 10 日に長竹での間伐研修に関しての)
日 5 月 29 日(火)10:10～12:30、 晴れ
場 横浜市金沢区泥亀一丁目　横浜市立八景小学校
参 5 年生　担任教師及び生徒計 71 名
イ 小野⑦

前に称名寺市民の森を歩いての見分を班別に点数評価しその内容を発表する。既に一時間の森林に関する授業を実施済。の 2 点を聞いていたので当日朝一時間程前記市民の森を歩いた後学校へ一時間目のスタートは班別に代表が市民の森の良い点悪いと思われる点を点数で発表し私も適宜論評した。次に林業の現状と課題についての授業に進んだがこの点は概ねの知識は習得しているので極力質問と意見発表を主体にして一方通行に陥らない様留意した。日本の林業が不振なのは「働き手が少ない・お金にならない」などの発表で実に的確に要因を把握していることに感服した。二時間目は森林作りの長いサイクルについて説明後間伐作業の実際を平面図で伐倒木・スリング取付け木引っ張り方向等、黒板を使って説明した。

拙い教師役ながら先生方の適切なご指導と生徒の皆さんの明るさ・元気さによりこちらが癒されました。

(記　小野　幸広　⑦)

○ 本番
日 6 月 10 日(日)11:00～14:00、 雨
場 愛甲郡愛川町　県立愛川ふれあいの村
参 5 年生 2 クラス 66 名　教師 9 名　計 75 名
財 古館様
イ L佐藤⑤、小野⑦、有坂⑧、鈴木(敏)⑧、松山⑩、
西出⑫、羽鳥⑭、牧石⑭

長竹継承分収林での間伐体験をして森林について学ぶ予定であったが、前線と台風 5 号の影響で朝から雨模様、10 時半に長竹に集合した財団・インストラクター全員で協議の結果、間伐体験を断念し、雨天メニューを実施することを宮ケ瀬ダム見学中の学校側に伝えた。

愛川ふれあい村／多目的ホールに財団が準備した架台・ヒノキ材など「丸太切り・コースター作り」の準備を整えて生徒達の到着を待った。生徒達も昼食を済ませており 12 時から約 1 時間半、7 班に分かれてヒノキのコースター作りに取り組んだ。間伐体験に関しては小野さん⑦が事前授業で森林の現状や間伐の意義、間伐の方法などを説明し間伐作業への関心が高いとのことから、コースター作りの前に実際に使用する間伐鋸やロープなどをどのように使うのか簡単にデモを実施して見せた。

当初、一人一枚としていたコースターが時間も有ったことで 2 枚となり、間伐鋸で切り落とした後のサンドペーパー掛けに夢中になる姿が微笑ましかった。素材の丸太が若干、乾燥気味であったが室内にはヒノキの香りが漂い、コースター作りは楽しかったとの声が多かった。「終りの会」のあと、生徒達は次の活動のため、まだ雨が残っている屋外へ飛び出して行った。

(記　佐藤　武晴　⑤)

人も自然もいきいき 丹沢
丹沢の自然再生に取り組む　丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

◆ 横浜市立公田小学校　自然観察

日 6 月 14 日(木)13:30～16:00、 曇り
場 愛甲郡愛川町　県立愛川ふれあいの村、
参 5 年生 37 名、教師 7 名
イ L西出⑫、斎藤⑥、真部⑬、川瀬⑮

梅雨の時期で天候が心配されましたが、曇りながら時々日も射す中、予定通り、「木ラリー」を使った自然観察を行いました。解答用紙の地図を頼りに、記載された番号の木を探し当て、表の中からどの木に相当するのか、みんなで相談しながら回答します。初めて見る村内の地図に戸惑いながら、目当ての木にたどり着いて、回答を書き終えたら、私達インストラクターがその木にまつわる話をします。

生きた化石と言われるメタセコイア発見のいきさつを聞いたり、ヘリの回転翼の様に飛ぶイロハモミジの種子を飛ばしたり、いい香りのするカツラの落ち葉の匂いを嗅いだり、みんな、いろんな木の話や性質に興味津々でした。前後1時間の木ラリーの途中では、日陰に腰を下ろして、森の働き、森の現状、森林の整備などの森林講話をして、森に関心を持ってもらうように努めました。

2時間余りの時間でしたが、子供たちは森の中でいい時間を過ごせたと思います。

（記　西出　健一　⑫）

◆ 鎌倉市公園協会活動

日　6月16日(土)9:30～12:00、 曇り

場　鎌倉中央公園　2F　講義室、及び　子どもひろば

参　16名(男12名、女4名)

スタッフ　(公財)鎌倉市公園協会　　千田様、後藤様

イ　L安部⑤、小沢⑨

平成30年度の緑のレンジャー、シニア、4月からスタートで来年1月までに11回の活動を行う。

今回が第3回目、実習「道具の使い方」が梅雨空の下、雨天時も対応可能の対策を取って頂き、現地子どもひろばの下見を行いプログラムの確認、今回はマダニ対策としての問題提起があり参加者を含め全員で対応を考察させて頂いた。

樹林地の下草刈り、間伐等の活同時に使用する道具の説明、使い方等を2階の講義室で行う。空もようを気にしながらもヘルメット、ハサミ、ノコ等の道具を携え現地へ、2班に分かれ準備運動をして座学の実地研修。

各々がそれぞれの道具を使い樹林地内での体験、高枝ノコギリ等は作業が少々物足りなく感じた人もいたようでしたが、次回以降のプログラムで体験できる旨説明し、期待して気持ちは早々に夢を膨らませていた様でした。

事務所へ戻り道具の手入れの方法について学び、ヒヤリハットも無く本日のまとめをさして頂き散会した。

（記　小沢章男　⑨）

◆ 伯東株式会社　伯東グループ　第11回森林活動

日　6月30日(土)10:30～12:00、 晴れ

場　南足柄市　塚原水源林

参　伯東株式会社　管理統括部CSR推進室　臼居様

他　大人13名　(男性12名、女性1名)

イ　L村井⑨、牧石⑭

関東甲信地方の梅雨明け発表の翌日、枝打ち活動を実施しました。

例年の活動予定では下草刈りの予定でしたが、ヒノキが背丈以上に伸び、枝が密集してきた場所も有る為、枝打ち活動となりました。

作業前のミーティングで枝打ち手順の説明「1.5cm以下の細い枝の切り方、2～4cmの太さの枝の切り方、4cm以上の太い枝の切り方、枝の切断位置の確認、枝打ちの効果」について、枝打ち作業のイラストを使用し説明させていただいた後、2班に分かれ作業を実施。熱中症予防の為、作業開始30分後に休憩と水分補給を確り行い、1時間の作業で約60本の枝打ちを実施しました。その後、用具の手入れを行った後、参加全員の記念撮影も行われました。帰りのタクシーの待ち時間を活用し、ミニ自然観察会「コウゾ、サルナシ、クズの話し」をさせていただきました。参加された皆様、真夏日の暑い中での作業、大変お疲れ様でした。

（記　牧石　稔　⑭）

かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目／NPO法人で初めて委嘱されています。

やどりき水源林ミニガイド

7月のトピックス

美しいイワタバコの花が咲いていました。

7/22 撮影

8月の水源林

猛暑日も何の其の、やどりきに来れば、綺麗な森や川、しかも滝郷の滝がありマイナスイオンで清め涼めます。お待ちしています。

「森の案人」情報

猛暑の訪れ。案内人もはりきってお待ちしています！！

案内と事故保険は無料です。

●実施時間:毎週土曜・日曜・AM10 時・PM1 時，1～2 時間程度

●集　合:水源林入口ゲート前

●内　容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

＊10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ:(公財)かながわトラスト みどり財団　TEL:045－412－2255　FAX:045－412－2300

● ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ: http://www.ktm.or.jp http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikiki27.html　E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35～40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報　＆　ご案内

森林探訪

河村城址・洒水の滝
～山北の歴史と自然を訪ねて～

9月23日（日）　募集 7/1～9/16

集合　JR山北駅改札前　9:00　　解散　15:00

行程:山北駅～河村城址～河村城址歴史公園～(昼食休憩)～洒水の滝入口～洒水の滝～山北駅

参加費参加費:1000円　みどりのトラスト会員証提示で500円　雨天決行、募集人員:各80名

申し込みは往復ﾊｶﾞｷに

森林探訪名、開催日、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、

〒243-0018 厚木市中町2－13－14 サンシャインビル6階604号 NPO法人かながわ森林インストラクターの会 自然観察部会

＊メール:kanagawa_shizenkansatu@yahoo.co.jp

問合せ先　担当:赤崎　＊電話:090-6150-6173

◇　森のなかま原稿募集　◇

会員・読者の皆様から広くを募集しています。

＜広報全般についてのお問い合わせ＞
松本　保

Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
Tel　：090－7962－3168

＜電子配信担当＞　笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com
Tel　:090－4137－9265

＜メール・手書き原稿送り先＞

【本誌】松本　保
〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17
Fax: 045-301-9401
電話連絡先：090－7962－3168
Mail：matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川　敏史
〒247-0066　鎌倉市山崎 2273-1-515
Tel：080-5477-2206
Mail：kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊はCCを】福島 正治（事務局長）
〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204
Tel/Fax：044-944-9423
Mail：fukky52000@yahoo.co.jp
原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
（ホームページ）　http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01
（HP 担当 ： 井出恒夫）

編集後記

★子供の頃待ち遠しかった夏が、今は辛くなりました。
蝉の声もやかましく、秋風を心待ちにする今日この頃です。
（笠原）

★7 月は、連日の猛暑と報道の多さに辟易し、外出がおっくうな毎日でした。
最高温度の日本記録まで出ましたね。
今後は、40 度が普通になるのでしょうか？
（黒川）

★毎日が猛暑から酷暑に。家の中エアコンかけて、グタッとしてるのが、お勧めとTV でも言っている。高校野球も見物しなかった。完全な異常気象じゃないか。
（吉田）

★夏の高校野球、そしてタイの洞窟に閉じ込められた少年とコーチ。あの少年たちの体力と精神力はすごい。あゝ戻りたいあの頃に。ン猛暑負けないぞ（細心の注意力と精神力で。でも体温より高い気温で水分をとっても効果は？（冷却不可））
（松本）

■移行

電子配信:赤崎さん⑫から笠原さん⑭にイラストは大塚さん⑪から加藤さん⑮に発送は阿藤さん⑮竹内さん⑮が参加。小川さん⑬は広報部を卒業しました。

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454
かながわ森林インストラクターの会宛て2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回／1年間お届け致します。

編集人:　松本　保
事務局:　福島正治
広報部:薗田栄哉　吉田郁夫
黒川敏史　笠原かずみ
加藤優美　阿藤壽孝
支援:伊藤恭造　大原正志　江頭淑子

まつだ観光まつり、あしがら花火大会　8月 25日(土曜日)

☆観光まつり
〔メイン会場:酒匂川町民親水広場〕午後4時～（プレイベント／午後3時～
〔パレード:松田町内　詳細はホームページで〕　午後4時～

☆花火大会　午後8時～8時 40 分　打ち上げ場所　酒匂川、川音川合流地点

http://letsgo-matsuda.com/　松田町観光協会　TEL:0465-85-3130

緑の募金箱が置いてある飲食処[こまち]に寄ってみよう！！